

平成26年度事業計画(案)

【平成26年度の運動方針】

時代ニーズへの対応 ―新たなる種まき―

【平成26年度重点活動】

1. みんなつながろ、トモダチ作戦 /平成26年度本格スタート
2. はがきキャンペーン
3. 広報活動

公益目的事業

[公1 = 「小さな親切」運動を通じて国民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養]

1. 「小さな親切」実行章贈呈事業

実行章推薦活動の普及・拡大
贈呈式や伝達式の開催

2. 第39回「小さな親切」作文コンクール

後援	内閣府 文部科学省 NHK 毎日新聞社
協賛	カシオ計算機(株)予定
テーマ	「小さな親切」―私のした・うけた・みた・できなかった親切―
応募資格	小学生・中学生(小中学生と同じ学齢のものを含む)
応募字数	400字詰め原稿用紙3枚(1200字)以内
賞	内閣総理大臣賞 1名 文部科学大臣賞 1名 「小さな親切」運動本部賞 2名(小・中各1名) 特別優秀賞 6名(小・中各3名) 優秀賞 20名(小・中各10名) 入選 100名(小・中各50名)
副賞	メダル・デジタルカメラなど
要項・入賞発表	毎日新聞 /教育新聞 5月下旬 毎日新聞 /教育新聞 11月中旬
締め切り	平成26年9月26日(金)必着
審査	第一次審査 9月29日(月)～10月7日(火) 第二次審査 10月18日(土) 審査会 11月4日(火)
表彰式	平成26年11月29日(土) 全国表彰式席上

※作文コンクールを開催している地方組織の応募作品は、第二次審査からのエントリーとなる。締め切り後、10月14日（火）までに本部へ送付のこと。

3. 青少年すこやか育成事業 <（公財）JKA 補助事業>

1) 被災地向け

①工作教室 講師：有賀 忍（板絵画家・相模女子大学学芸学部子ども教育学科教授）

②紙芝居朗読 講師：難波圭一（声優）

2) 被災地外向け：「つなみのひ」を用いた紙芝居授業の実施

講師：馬場喜久雄（一般財団法人総合初等教育研究所室長）

宮島 盛隆（済美教育センター指導教授・白百合女子大学講師）

3) 専用サイトを活用した教育活動

4. みんなつながろ、トモダチ作戦

1) 団体、地域特性を生かしたあいさつ運動の推進（以後4年間継続）

2) あいさつ推進グッズの追加作成・提供（以後、ニーズや状況に応じて作成）

3) あいさつ運動実施の事例収集

※5カ年計画実施（案）

・1年目（平成25年度）：推進グッズ作成・提供

・2年目（平成26年度）：上記の通り

・3年目（平成27年度）：あいさつ推進事例集作成と配布

実施地域情報交換の場の提供（トモダチサミット等）

・4年目（平成28年度）：「みんなつながろ、トモダチ作戦」大賞募集、表彰

・5年目（平成29年度）：総括及び成果発表

5. ことばの魔法プロジェクト

1) 第30回「小さな親切」はがきキャンペーン “てのひら感謝状”

後 援 日本郵便(株) 読売新聞社

協 賛 (株)河出書房新社

テ — マ あなたへありがとう <検討中>

応募資格 子ども～大人

●[はがき de イイ話部門]

●[心のほっとメール部門]

賞 大賞 日本郵便賞 1名

「小さな親切」運動本部賞 1名

読売新聞社賞 1名

河出書房新社賞 1名

ハートフル賞 1名

入 選 20名

副賞 上位賞：高級文房具・額・切手シート・図書カード

入 選：図書カード・作品集単行本
要項・入賞発表 読売新聞 / 7月中旬 ・ 11月中旬
締め切り 平成26年 9月25日(木)
審査会 平成26年10月15日(水)
表彰式 平成26年11月29日(土) 全国表彰式席上

- 2) 一人暮らしのお年寄りへ「お便り便」
- 3) 記念日に大切な人へ Thanks Letter

6. 平成26年度「小さな親切」運動全国表彰式

後 援 内閣府 文部科学省 NHK

と き 平成26年11月29日(土) 12:30~15:00

ところ 東京・霞が関ビル35階 東海大学校友会館

賛助出演 JERRYBEANS & yokko

プロフィール：NPO法人マイペースプロジェクトでは、元不登校でひきこもりだった青年たちが、自らの体験を語ることで、そこから脱するためのヒントを小中高校生や父兄たちに与えるライブ公演活動を行っている。

7. 「小さな親切」誌の刊行 <(財)日本宝くじ協会助成事業>

季刊発行 年4回(春号5月・夏号7月・秋号10月・新春号1月)

発行部数 年間延べ144,000部

■課題を受けて

- ・ホームページ、Facebookとの連動を図る。

8. 全国組織の育成

1) 地方活動費の交付

(平成25年度会費収入の12%と学校会員費の20% 6月交付予定)

2) 全国地方本部事務局長会議

と き：平成27年2月13日(金) 予定

ところ：ベルサール飯田橋2階会議室

3) 地方組織の各種会合への講師派遣、会議出席等

4) 未組織県の組織化

■課題を受けて

- ・中央本部の役割をより明確化し、県本部・支部、会員へのサポートを充実する。

[公2 =高齢者及び障害者の福祉の増進を目的とする事業]

1. 地域の輪・和・環プロジェクト

車椅子寄贈 100台

寄贈先アンケート 事務局通信にてアンケート用紙を配布。
回答締め切り 平成 26 年 7 月 4 日 (金)
寄贈期間 平成 26 年 10 月 1 日 (水) ~15 日 (水) までの 2 週間

■課題を受けて

- ・運動として、高齢化社会に向けて何を提案し、活動していくかを再考する。

[公3] =地域環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業]

1. 日本列島クリーン大作戦 (32 回目)

後 援 内閣府、文部科学省、農林水産省、国土交通省、経済産業省、
総務省、環境省、警察庁

協 賛 日本たばこ産業株式会社、スチール缶リサイクル協会、コ・コーラ協会、
日本石鹼洗剤工業会、(公社)食品容器環境美化協会、
(公財)日本環境協会

スローガン 美しい日本、美しい心

ごみ袋 250,000 部 <協力：日本たばこ産業株>

(内訳 30ℓ袋 100,000 部・12ℓ手提げ袋 150,000 部)

活動報告 たばこの吸殻を含めたごみの量の変化、会員以外も含めた全参加人数の把握、参加者の意識等を調査し、日本たばこ産業株に報告。

▽エコキャップ収集運動 (6 年目)

事業協賛 (株)ニヤクコーポレーション

■課題を受けて

<クリーン大作戦>

- ・日本たばこ産業株提供のごみ袋の削減、送料の自己負担を受け、ごみ袋の提供終了を視野に、自主活動及び他の環境活動への転換等について検討を行う。
- ・後援・協賛については、来年度以降、実際に地方組織と協力関係のある団体に集約をはかる。

<エコキャップ収集運動>

- ・発送費は現在、(株)ニヤクコーポレーションの協力を得ているが、今後は、エコキャップ推進協会との連携や、運動自体の見直しなど発送費の軽減に努める。

2. 日本列島コスモス作戦 (26 回目) <協力：(株)サカタのタネ>

コスモス種子袋および種子の斡旋

アンケート回答締め切り 平成 26 年 2 月 28 日 (金)

余白印刷申込締め切り // 3 月 7 日 (金)

購入代金の請求 種子納品ごとに毎月、運動本部から請求

■課題を受けて

- ・種子袋を運動ピアーール用にも使えるデザインにリニューアル

[公4 =国際相互理解と友好の促進事業]

1. 心の国際交流

- 1) 「世界親切」運動 (World Kindness Movement=WKM) メンバーとの交流
- 2) シンガポール親切運動との情報交換

<WKM 情報>

- | | | | |
|---------|-----|---------|--------------|
| ①代表と事務局 | 初代 | 日本 | 森 亘 (代表) |
| | 2代目 | シンガポール | ノエルホン・チャーチュン |
| | 3代目 | オーストラリア | マイケル・L・ホワイト |
- ②中国がメンバーに参加

収益事業

1. はがきキャンペーン作品の書籍化

「涙が出るほどいい話」(河出書房新社発行) 等単行本発行へ題材提供、印税収入をはかる

■課題を受けて

- ・テーマを変えて応募者層・応募総数を拡大し、単行本の発行に結びつける

その他事業

1. 総会・役員会

1) 第4回社員総会

と き 平成26年5月29日(木) 14:00~16:00

と ころ ベルサール飯田橋駅前2階会議室

2) 理事会 4回開催

2. 各種パンフレット、ポスター等の作製

1) 基本資料

「小さな親切」運動基本パンフレット 5,000部

八か条カード(名刺サイズ) 50,000部

県本部PR用パンフレット …要望を受けて作製補助

入会者用パンフレット 12,000部

「小さな親切」実行章パンフレット 10,000部

2) 作品集(作文コンクール・はがきキャンペーン合併版) 5,000部

3) 個人・団体・学校会員証、会員バッジほか

■課題を受けて

<基本資料>

- ・県本部・支部がPRに使用できるA4サイズのパンフレットデザインをWEBに掲載し、作製に協力。

〈会員証、会員バッジ〉

・現在職員の手書き、パウチの「会員証」をプラスチックカード化する。

3. 「小さな親切」運動本部特任推進委員の委嘱
特任推進委員数の拡大
4. 使用済み切手・プリペイドカード・未使用はがき寄贈
協力者氏名をホームページに掲載
寄贈先 3か所
5. 地方組織に会員リスト発送
4月中旬以降、道府県本部、支部宛に会員リストを発送

広報活動

1. WEB サイトによる情報発信
WEB サイト等を通じた運動情報発信
 - ①Facebook
 - ②You Tube 専用チャンネル
2. メディアへの情報提供
メディアへの情報の発信や、番組制作会社・地方組織等との連絡調整